



鴻巣西中通信

学 校 だ よ り

鴻巣市立鴻巣西中学校
鴻巣市大間 1 1 6 1 番地
令和 3 年 2 月 1 日

第 1 0 号

制限の中の3つの学び「学習・学校行事・部活動」

～学校自己評価から～
校 長 服部幸司

毎年、学校では、自らの教育活動その他の学校運営について、学校教育目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について自己評価しています。今月号では、そのあらましをお伝えします。

まず、中学校3年間で、多くの生徒が頑張ろうとするのが「学習」「学校行事」「部活動」の3つです。この3つに対して、鴻巣西中教職員として指導し、支援していくわけですが、その指導・支援が適切だったかを自己評価しました。ここでは代表的な評価項目と評価をそれぞれ1つずつ挙げます。



(評価は、「4」をよくあてはまるとする4段階評価であり、()は昨年度の評価です。)

- 学習 …生徒の実態を把握した学習指導が展開されている。
- 学校行事…生徒は学校行事への取組に意欲的・積極的である。 3.5(3.4)
- 部活動 …生徒が自主的に参加し、活動できるよう指導が行われている。 3.7(3.6)

次に、今、非行や暴力行為から変わって、いじめ・不登校がどの学校でも大きな問題となっていますが、その予防・解決のために重要な「道徳教育」「生徒指導」「教育相談」について代表的な評価項目と評価をそれぞれ1つずつ挙げます。

- 道徳教育…全ての教育活動を通して道徳的実践力の育成が図られている。
- 生徒指導…生徒の実態を的確に把握し、規律ある態度の指導確実に実践している。 3.2(3.4)
- 教育相談…教育相談を通して一人一人の生徒理解と問題の解消が図られている。 3.3(3.4)

最後に、学校教育目標『心豊かでたくましい西中生』についてですが、「思いやりをもち、人に尽くす生徒が着実に育っている」については3.3(3.2)であり、様々な制限の中の教育活動でしたが、年度当初に思い描いた生徒像に、西中生は少しずつ近付いてきている、と分析しています。

なお昨年度の課題であった「自学ノート」ですが、どの学年も自学ノートの扱い方について、学年で共通の認識をもち、どこまで指導するべきかを明確にしました。その結果、「補充学習、自学ノートは、生徒の学習意欲、学力の向上に生かされている。」については3.3(3.2)であり、成果が表れてきています。

自校を見つめ直すために学校自己評価を実施していますが、改めるべき点は改め、今後も保護者・地域の方々から信頼される学校づくりを推進してまいります。

